

# 第89期第2四半期 (中間)報告書

(平成24年4月 1日から)  
(平成24年9月30日まで)

## 株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第89期第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）の事業の状況等につきましてご報告申し上げます。

### 事業の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要やエコカー補助金等の政策効果を背景に緩やかな回復が続いてきましたが、海外経済が減速感を深める中で足踏み状態へ移行し、弱めの動きとなってまいりました。特殊鋼の主要需要先である自動車および産業機械・IT関連需要に関しましても、自動車関連は堅調な推移を続けてきたものの、産業機械・IT向けにつきましては、海外景気の減速や円高による輸出の停滞等を背景として需要調整局面が長期化しております。

このような経営環境のもと、当社グループにおきましては、急激な需要変化に対して柔軟に対処するとともに、知多工場製鋼プロセス合理化等の事業課題に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、景気動向の悪化と産業機械・IT関連製品を中心とした在庫調整等により、前年同期比75億84百万円減収の2,337億24百万円となりました。また、経常利益につきましても、売上高の減少および知多工場における工事関連費用が発生したこと等から、前年同期比49億22百万円減益の93億4百万円、四半期純利益は55億7百万円となりました。

中間配当金につきましては、1株につき3円とさせていただきます。

なお、通期（平成25年3月期）の連結業績予想につきましては、経済状況の悪化に伴う売上高の当初想定対比減少等により、前回（平成24年4月27日）発表の業績予想を修正しております。

## 平成25年3月期の連結業績予想

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(単位:百万円)

		売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
平成24年3月期(実績)		489,154	31,533	31,762	22,717
平成25年 3月期	前回(平成24年4月27日) 発表予想	500,000	31,500	31,500	20,000
	今回(平成24年10月31日) 発表予想	450,000	17,500	17,000	10,000

(注) 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

セグメント業績は、以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較につきましては、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値によっております。

### 特殊鋼鋼材

特殊鋼鋼材部門につきましては、自動車関連需要は、国内外市場の販売が概ね順調であったことから、総じて堅調に推移してまいりましたが、産業機械向け需要が海外経済の減速と在庫調整の影響を受けて大きく減少いたしました。

こうした需要環境のもと、当社におきましては、需要動向変化を注視しつつ、夏季電力制約や知多工場の大型工事に対応するために生産平準化と備蓄運営を実施し、あわせてコスト削減につきましても継続して取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の特殊鋼鋼材部門の売上高は、売上数量の減少と鉄スクラップ価格に連動した販売価格の見直しにより、前年同期比6.2%減少の901億75百万円となりました。

### 機能材料・磁性材料

ステンレスおよび高合金製品につきましては、自動車向け需要は、概ね堅調に推移したものの、産業機械・IT関連需要は、市況の低迷と在庫調整により低位にとどまりました。磁材製品につきましては、タイの生産拠点が復旧し生産活動を再開いたしました。FAサーボモーター磁石の在庫調整とIT市況悪化によるHDD磁石の低迷から、売上高は減少いたしました。粉末製品につきましては、ハイブリッド車の販売好調などを受

け高水準の需要が継続しており、売上高は増加いたしました。チタン製品につきましても、ユーロ安影響から輸出は低位にとどまったものの、国内販売の拡大によって、売上高は増加いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の機能材料・磁性材料部門の売上高は、需要の調整と一部製品の販売価格がニッケルおよびレアアース価格に連動したことから、前年同期比13.1%減少の720億83百万円となりました。

### **自動車部品・産業機械部品**

自由鍛造品につきましては、航空機関連需要は堅調なもの、その他の分野では欧州および新興国の景気減速と円高の影響から輸出が伸び悩んでおり、低位で推移しております。精密 casting 品につきましては、欧州景気の悪化影響からターボ関連需要の調整が継続しております。型鍛造品につきましては、産業機械向け需要は減少いたしました。東南アジアを中心としたトラック関連需要の拡大を受け、引き続き堅調に推移いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の自動車部品・産業機械部品部門の売上高は、前年同期比2.7%増加の475億26百万円となりました。

### **エンジニアリング**

エンジニアリング部門につきましては、中国等海外案件の売上寄与と磁石製造関連会社の工場建設工事の進捗により、前年対比の売上高は、大きく増加いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間のエンジニアリング部門の売上高は、前年同期比76.7%増加の193億5百万円となりました。

### **流通・サービス**

流通・サービス部門につきましては、海外商社の需要調整影響等により当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比7.5%減少の46億33百万円となりました。

## 当社グループのセグメント別売上高

セグメント区分	第88期上半期 (平成23/4-9)		第88期下半期 (平成23/10-平成24/3)		第89期上半期 (平成24/4-9)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
特殊鋼鋼材	96,140	39.8	98,843	39.9	90,175	38.6
機能材料・ 磁性材料	82,938	34.4	81,660	32.9	72,083	30.8
自動車部品・ 産業機械部品	46,291	19.2	47,878	19.3	47,526	20.3
エンジニアリング	10,928	4.5	14,840	6.0	19,305	8.3
流通・サービス	5,009	2.1	4,623	1.9	4,633	2.0
合計	241,308	100.0	247,846	100.0	233,724	100.0

- (注) 1. 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 構成比は、小数点第2位以下を四捨五入して表示しております。  
 3. 第1四半期連結会計期間より、会社組織の改定にともない、報告セグメントを、従来の「特殊鋼鋼材」「電子・磁性材料」「自動車部品・産業機械部品」「エンジニアリング」「新素材」および「流通・サービス」の6区分から、「特殊鋼鋼材」「機能材料・磁性材料」「自動車部品・産業機械部品」「エンジニアリング」および「流通・サービス」の5区分に変更しており、前年の実績は、変更後のセグメント区分に組み替えて説明しております。

## 対処すべき課題

当期の日本経済は、東日本大震災からの復興需要やエコカー補助金等の政策効果を背景に緩やかな回復が続いてきましたが、海外経済が減速感を深める中で足踏み状態へ移行し、弱めの動きとなってまいりました。特殊鋼の主要需要先である日系自動車産業につきましても、エコカー補助金効果の一巡に加え中国市場における販売不振が懸念されることから、今後の需要下振れリスクに十分留意していく必要があると思われまます。また、産業機械・IT関連需要につきましても海外を中心とした景気動向の影響を大きく受けることから、しばらくは低位で推移する可能性が高く、当社を取り巻く状況は引き続き厳しいと思われまます。

このような経営環境のもと、当社グループにおきましては、足元の需要動向に対して柔軟に対処するとともに、徹底したコスト削減への取り組みによって収益確保に努めてまいります。また、ユーザーの海外展開や現地調達化の進展、電力等製造コストの上昇など中長期の経営課題に対しましては、以下の重点課題からなる「2014中期経営計画」を推進し、『企業体質強化』と『成長戦略の実現』を目指してまいります。

#### ①ベースロード商品の抜本的事業基盤強化

当社のメイン工場である知多工場製鋼プロセスの抜本的な合理化により、グローバル市場で勝ち残るための競争力の強化と戦略商品の生産余力創出を実現いたします。また、国内外企業との戦略的な複眼的アライアンスを進め、グローバル市場における相互提携効果の拡充を図ってまいります。さらに、事業活動の継続性、安定性強化のため津波等の重大災害を想定したBCM (business continuity management、事業継続マネジメント) への取り組みを強化してまいります。

#### ②大同得意商品による中長期成長戦略の実現

今後もさらなる成長が見込まれるアジア市場を中心に、差別化された大同得意商品である“グローバル・リーディング商品”の拡大を進め、成長戦略の実現を図ってまいります。また、そのための施策として、知多工場への戦略投資の他、渋川工場の機能強化、星崎工場の2次加工コストダウン、自動車用エンジンバルブの現地生産等の施策を進め、QCD競争力の抜本的な改善を図ってまいります。

#### ③次世代成長事業による将来成長分野の拡大

今後の需要拡大が見込まれる次世代成長事業・商品につきましては、さらなる品質・技術革新の追求とグローバル生産能力の拡充によって成長戦略を実現してまいります。なかでも世界的な需要拡大が見込まれる磁石事業、ターボ部品事業につきましては、ダイドー電子グループ、大同キャスティングス等既存拠点の能力増強の他、新規に設立した磁石製造会社インターメタリックスジャパンの生産立上げを予定しており、これらの施策によるさらなる事業成長を目指してまいります。

#### ④グローバルネットワークと海外戦略の展開

海外成長市場への取り組みとして、成長市場であるアジア新興国市場に対し当社グループによるサプライチェーン機能の強化ならびに米国・ティムケン社およびインド・サンフラッグ社をはじめとするアライアンス提携会社との関係強化を図り、グローバルネットワークの拡充を目指してまいります。

#### ⑤財務体質の強化

前記の事業戦略を通じて収益力のさらなる強化と生産効率性の向上を図り、将来にわたる安定的なキャッシュフロー創出力を獲得してまいります。そして、当社グループの持続的成長力を確保するための経営資源の再投入と財務体質のさらなる強化を両立してまいります。

当社グループに与えられた使命は、より進化した製品や技術の開発を通して社会に貢献して行くことと認識しております。この使命を果たすため、常に最先端の技術開発とその活用に努め、グループ一丸となって持続的な企業価値の向上を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年12月

代表取締役社長 嶋尾 正



## 四半期連結貸借対照表 (平成24年9月30日現在)

当第2四半期連結会計期間末

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
<b>流動資産</b>	<b>256,021</b>	<b>流動負債</b>	<b>143,948</b>
現金及び預金	58,864	支払手形及び買掛金	73,918
受取手形及び売掛金	95,626	短期借入金	32,410
たな卸資産	93,313	1年内償還予定の社債	10,800
その他	8,645	未払法人税等	2,192
貸倒引当金	△428	賞与引当金	6,810
		その他の引当金	231
<b>固定資産</b>	<b>244,192</b>	その他	17,585
<b>有形固定資産</b>	<b>157,168</b>	<b>固定負債</b>	<b>126,955</b>
建物及び構築物 (純額)	51,560	社 債	30,050
機械装置及び運搬具 (純額)	61,747	長期借入金	74,413
その他 (純額)	43,860	退職給付引当金	6,912
		その他の引当金	1,235
<b>無形固定資産</b>	<b>3,521</b>	その他	14,344
のれん	232	<b>負債合計</b>	<b>270,903</b>
その他	3,288	<b>(純資産の部)</b>	
<b>投資その他の資産</b>	<b>83,502</b>	<b>株主資本</b>	<b>195,991</b>
投資有価証券	54,482	資 本 金	37,172
その他	29,413	資本剰余金	28,542
貸倒引当金	△393	利益剰余金	130,616
		自己株式	△339
		その他の包括利益累計額	346
		その他有価証券評価差額金	365
		繰延ヘッジ損益	△2
		土地再評価差額金	1,654
		為替換算調整勘定	△1,671
		少数株主持分	32,972
		<b>純資産合計</b>	<b>229,310</b>
<b>資産合計</b>	<b>500,213</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>500,213</b>

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 四半期連結損益計算書

(平成24年4月1日から  
平成24年9月30日まで)

当第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

科 目	金 額	
売 上 高		233,724
売 上 原 価		199,865
売上総利益		33,859
販売費及び一般管理費		24,254
営業利益		9,604
営業外収益		
受 取 利 息	55	
受 取 配 当 金	727	
持分法による投資利益	364	
そ の 他	890	2,038
営業外費用		
支 払 利 息	1,051	
固定資産除却損	471	
為 替 差 損	368	
そ の 他	447	2,339
経常利益		9,304
特別利益		
固定資産売却益	1,400	
そ の 他	14	1,415
特別損失		
投資有価証券評価損	1,178	
そ の 他	354	1,533
税金等調整前四半期純利益		9,185
法人税、住民税及び事業税	2,298	
法人税等調整額	453	2,752
少数株主損益調整前四半期純利益		6,433
少数株主利益		925
四半期純利益		5,507

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 当社グループの主要な事業内容

セグメント区分	主要な事業内容
特殊鋼鋼材	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自動車・産業機械・電気機械向け部品用材料、建設用材料、溶接用材料</li> <li>●特殊鋼鋼材加工、流通</li> <li>●原材料販売</li> <li>●運輸、物流</li> </ul>
機能材料・磁性材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高合金製品、電気・電子部品用材料</li> <li>●磁材製品（電動パワーステアリング用モーター、OA・FA用モーター、電機・通信機器、センサー等）</li> <li>●粉末材料（HEV用磁性粉末等）</li> <li>●チタン材料（医療用チタン合金、形状記憶合金等）</li> <li>●溶接材料</li> </ul>
自動車部品・産業機械部品	<ul style="list-style-type: none"> <li>●型鍛造品・熱間精密鍛造品・鋼機製品（自動車・ベアリング向け部品等）</li> <li>●自由鍛造品（重電・航空機・石油掘削・石油化学プラント用部品等）</li> <li>●鋳鋼品（鉄道用マンガンレール、自動車・産業機械・電機・各種炉用部品、高級鋳鋼品等）</li> <li>●精密鋳造品（ターボチャージャー部品、産業機械用部品等）</li> <li>●製材用帯鋸</li> <li>●エンジンバルブ</li> </ul>
エンジニアリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>●鉄鋼設備、各種工業炉およびその付帯設備、環境関連設備（排水・排ガス・廃棄物等の処理設備）、工作機械等</li> <li>●機械設備の保守管理</li> </ul>
流通・サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>●グループ会社製品の販売、福利厚生サービス、不動産・保険事業</li> <li>●ゴルフ場経営</li> <li>●分析事業、ソフトウェア外販事業</li> </ul>

## 重要な子会社および関連会社の状況

### ①重要な子会社の状況

#### 特殊鋼鋼材

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
大同興業株式会社	百万円 1,511	※ % 66.9	商事
大同DMソリューション株式会社	435	※ 96.2	特殊鋼鋼材の加工および販売 金型、金型部品の製造および販売 鋼材、非鉄金属の熱処理・表面処理
DAIDO PDM (THAILAND) CO., LTD.	百万BAHT 157	※ 90.0	金型用鋼、工具鋼プレートの加工および販売
天文大同特殊鋼股份有限公司	百万NT\$ 141	※ 75.8	金型用鋼、工具鋼プレートの加工および販売
DAIDO AMISTAR(M) SDN. BHD.	千RM 7,980	※ 89.6	金型用鋼、工具鋼プレートの加工および販売
DAIDO AMISTAR(S) PTE LTD	千S\$ 3,545	※ 69.1	金型用鋼、工具鋼プレートの加工および販売
大同資材サービス株式会社	百万円 60	100.0	当社および子会社等への諸資材の販売
大同エコメット株式会社	30	100.0	当社および子会社等から発生する廃棄物のリサイクルならびに製鋼用原料・資材の製造および販売
大同テクニカ株式会社	40	55.0	鋼材の精整作業

#### 機能材料・磁性材料

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
日本精線株式会社	百万円 5,000	※ % 40.5	ステンレス鋼線、金属繊維等の製造および販売
株式会社ダイドー電子	1,490	100.0	磁性材料の製造および販売
大同電工(蘇州)有限公司	千US\$ 21,000	※ 100.0	磁性材料の製造および販売
Daido Electronics (Thailand) Co.,Ltd.	百万BAHT 140	※ 100.0	磁性材料の製造および販売
下村特殊精工株式会社	百万円 297	※ 83.8	特殊鋼精密ロッドの製造、加工および販売
大同スペシャルメタル株式会社	400	50.0	ニッケル、ニッケル合金の販売
日星精工株式会社	80	100.0	ネジ、ボルトの製造および販売

## 自動車部品・産業機械部品

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
株式会社大同キャスティングス	百万円 2,215	% 100.0	鑄造品、特殊鋼管材の製造および販売
フジオゼックス株式会社	3,018	※ 51.7	エンジンバルブ等の製造および販売
日本鍛工株式会社	310	100.0	型鍛造品の製造および販売
東洋産業株式会社	160	100.0	型鍛造品の製造および販売
大同スターテクノ株式会社	150	100.0	鍛鋼品の機械加工、精整、熱処理等の請負
大同精密工業株式会社	90	※ 79.7	圧縮機部品、ターボ部品、カップリング等の製造および販売
OHIO STAR FORGE CO.	千US\$ 27	100.0	小型鍛造品の製造および販売

## エンジニアリング

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
大同マシナリー株式会社	百万円 310	※ % 96.0	工作諸機械、各種機械の製造および販売、機械設備の保守管理
大同環境エンジニアリング株式会社	50	100.0	灰溶融炉設備、下水汚泥処理設備の運転・保守業務請負
大同プラント工業株式会社	36	64.3	炉関係の設計、製作および販売

## 流通・サービス

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
株式会社大同ライフサービス	百万円 490	% 100.0	当社および子会社等の福利厚生施設の管理運用、不動産・土木建設・保険・印刷事業等
木曾駒高原観光開発株式会社	237	※ 55.7	ゴルフ場の経営
株式会社大同分析リサーチ	75	100.0	製鋼、鋳物、セラミックス等の分析・試験・調査業務の請負
株式会社スターインフォテック	45	100.0	情報通信機器によるシステムの企画、設計、開発、保守運用受託
株式会社ライフサポート	10	※ 100.0	清掃業、警備業および給食事業等
Daido Steel (America) Inc.	US\$ 9	※ 100.0	輸出・輸入商事

- (注) 1. ※印は、間接所有の株式を含みます。  
 2. 機能材料・磁性材料部門の日本精線株式会社および大同スペシャルメタル株式会社は、出資比率が100分の50以下ではありますが、実質的に支配しているため子会社としたものであります。

## ②重要な関連会社の状況

### 特殊鋼鋼材

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
理研製鋼株式会社	百万円 485	% 38.7	特殊鋼二次製品、切削工具等の製造および販売
東北特殊鋼株式会社	827	10.0	高級特殊鋼、加工製品の製造および販売
丸太運輸株式会社	100	45.0	運輸および倉庫業
桜井興産株式会社	75	*43.3	金属製品の熱処理の請負
泉電気工業株式会社	70	40.0	電気工事の設計施工および自動制御盤等の設計製作
川一産業株式会社	30	35.0	沿岸荷役、倉庫および運輸業

- (注) 1. ※印は、間接所有の株式を含みます。  
 2. 東北特殊鋼株式会社は、出資比率が100分の20未満であります。実質的な影響力を持っているため関連会社としたものであります。なお、緊密な者または同意している者の出資比率は23.8%であります。

## 従業員の状況 (平成24年9月30日現在)

### ①企業集団の従業員数

セグメント区分	従業員数(名)
特殊鋼鋼材	4,217
機能材料・磁性材料	2,053
自動車部品・産業機械部品	2,469
エンジニアリング	628
流通・サービス	838
全社(共通)	382
合計	10,587

### ②当社の従業員数

従業員数(名)	平均年齢(歳)	平均勤続年数(年)
3,180	38.9	18.0

## 株式に関する事項 (平成24年9月30日現在)

発行可能株式総数	1,160,000,000株
発行済株式の総数	434,487,693株
株主数	34,505名

### ①大株主の状況(上位10名)

株主名	所有株式数(千株)	所有株式数比率(%)
新日本製鐵株式會社	44,298	10.19
明治安田生命保險相互會社	20,759	4.77
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	17,529	4.03
株式会社みずほコーポレート銀行	15,543	3.57
株式会社三菱東京UFJ銀行	14,058	3.23
本田技研工業株式会社	13,053	3.00
全国共済農業協同組合連合會	13,032	2.99
日本発條株式会社	12,697	2.92
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	12,079	2.78
トヨタ自動車株式会社	8,690	2.00

※新日本製鐵株式會社は、平成24年10月1日に住友金属工業株式會社と合併し、新日鐵住金株式會社となっております。

### ②株式所有者別分布状況

所有者区分	株式数(千株)	株式数比率(%)
金融機関	175,632	40.42
国内法人	151,476	34.86
個人・その他	62,331	14.34
外国人	41,759	9.61
証券會社	2,673	0.61
自己名義株式	614	0.14

## 役員状況 (平成24年9月30日現在)

代表取締役会長	小澤 正俊	取締役	宮坂 明博
代表取締役社長	嶋尾 正	取締役	西村 司
代表取締役副社長	中坪 修一	取締役	立花 一人
代表取締役副社長	岡部 道生	取締役	辻本 敏
代表取締役副社長	堀江 均	取締役	志村 進
常務取締役	宮嶋 晃	取締役	松淵 周司
常務取締役	板摺 康宏	取締役	成瀬 真司
常務取締役	安田 保馬	取締役	武藤 大
常務取締役	新貝 元	常勤監査役	橋爪 優
常務取締役	石黒 武	常勤監査役	古池 俊典
常務取締役	高橋 元	監査役	小澤 祐吉

- (注) 1. 宮坂明博氏は、社外取締役であります。  
 2. 橋爪優氏および小澤祐吉氏は、社外監査役であります。  
 3. 橋爪優氏および小澤祐吉氏は、東京証券取引所および名古屋証券取引所の定めによる独立役員であります。

## 会社の概要 (平成24年9月30日現在)

資本金	371億7,246万4,289円
創業年月日	大正5年8月19日
設立年月日	昭和25年2月1日
事業所	

本社	名古屋市東区東桜一丁目1番10号	
東京本社	東京都港区港南一丁目6番35号	
支店・営業所	大阪支店 福岡営業所	大阪市中心区 福岡市中心区
工場	知多、知多型鍛造、知多帯鋼 星崎 粉末 渋川 王子 君津	愛知県東海市 名古屋市南区 名古屋市港区 群馬県渋川市 東京都北区 千葉県君津市
テクノセンター	滝春 中津川 築地 川崎	名古屋市南区 岐阜県中津川市 名古屋市港区 川崎市川崎区
研究開発拠点	研究開発本部	名古屋市南区

当社は、インターネット上にホームページを開設し、企業情報提供による知名度・理解度向上、社外との情報交換を促進するとともに、調達・販売・技術のグローバルなコミュニケーションの場として、さまざまな情報をご案内しております。【アドレス】<http://www.daido.co.jp/>

## 株式についてのご案内

- ・事業年度 4月1日から翌年3月31日までの1年
- ・定時株主総会 6月
- ・基準日 定時株主総会の議決権 3月31日  
中間配当金 9月30日  
期末配当金 3月31日  
(その他必要がある場合は、あらかじめ公告して定めます。)
- ・株主名簿管理人 〒100-8233  
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社
- ・同事務取扱場所 〒460-8685  
名古屋市中区栄三丁目15番33号  
三井住友信託銀行株式会社  
証券代行部
- ・郵便物の送付先 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社  
証券代行部  
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)  
受付時間 土日、休日を除く9:00~17:00  
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
- ・公告方法 電子公告 (当社ホームページに掲載)  
【アドレス】<http://www.daido.co.jp/koukoku/>  
※事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

### (お知らせ)

#### ・住所変更、単元未満株式の買取・買増請求等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社等にお申出ください。

なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

#### ・未払配当金のお支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

#### ・配当金受取方法のお取扱いについて

従来の配当金振込口座のご指定方法に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で株主様の保有しているすべての銘柄の配当金のお受取りや、証券会社等の口座でも配当金のお受取りが可能となります。確実に配当金をお受取りいただくためにも、これらの振込みによる配当金のお受取りをお勧めします。詳しくはお取引証券会社等にお問合せください。

